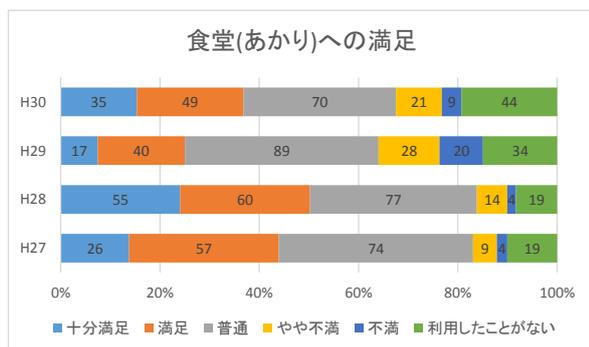
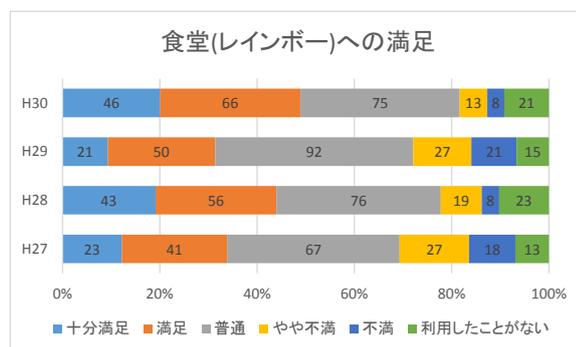
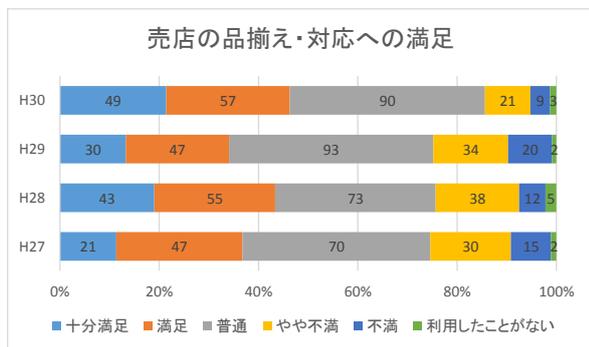
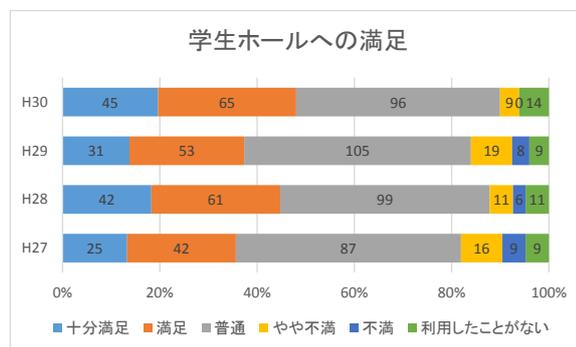
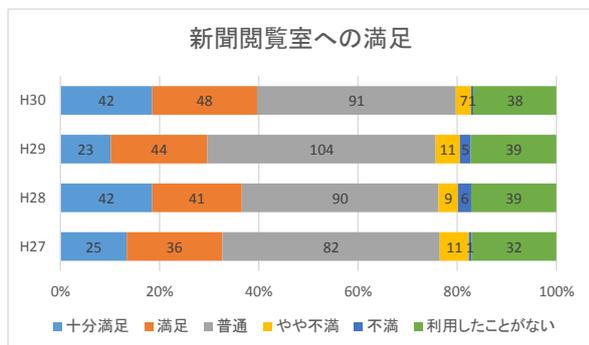
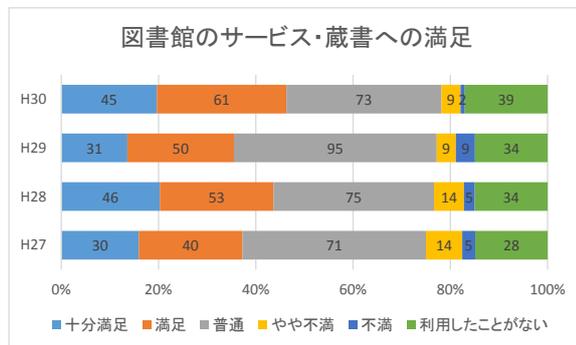
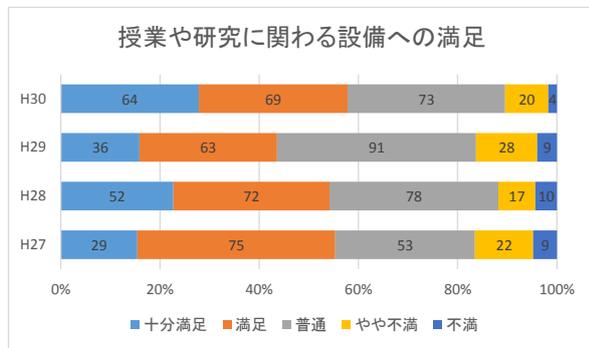
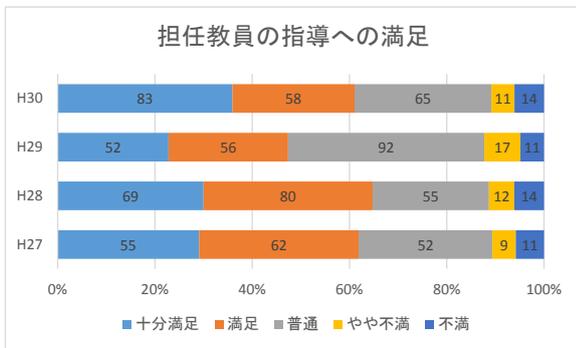
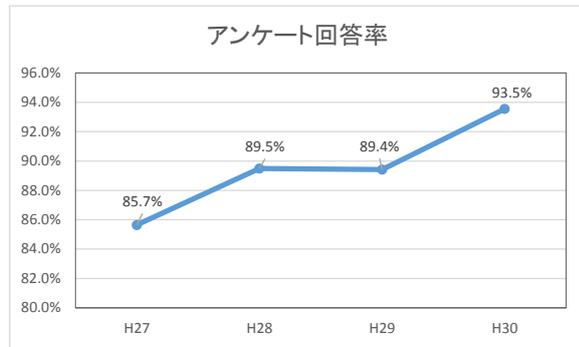


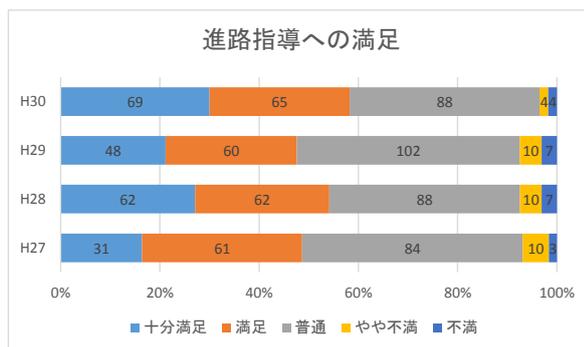
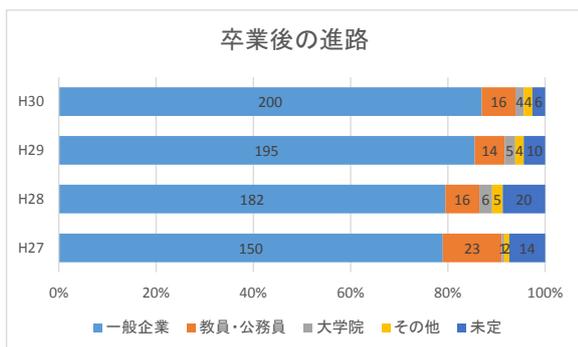
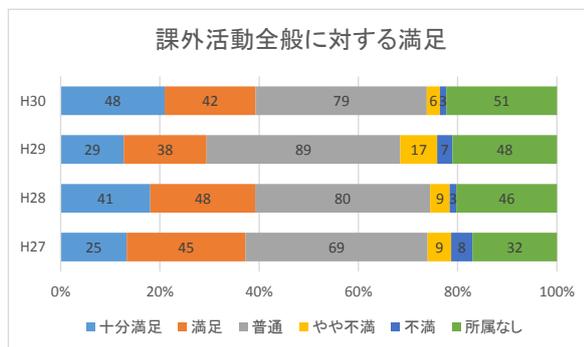
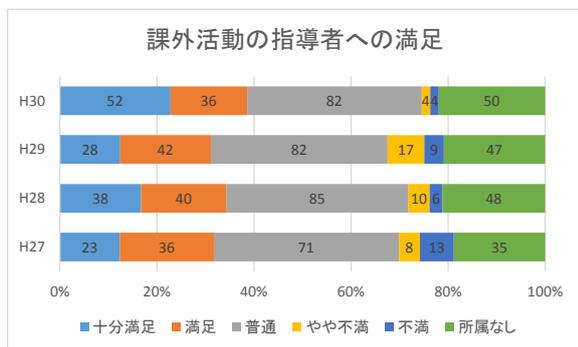
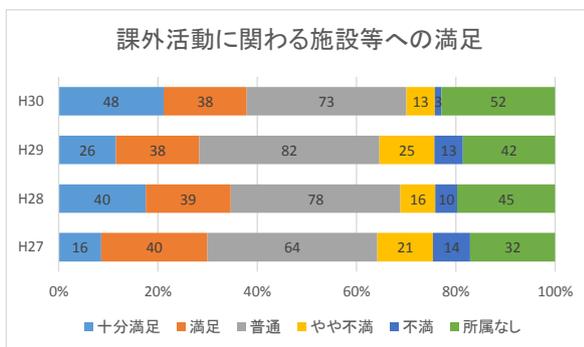
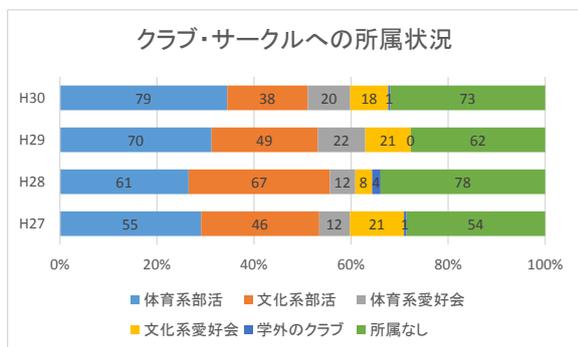
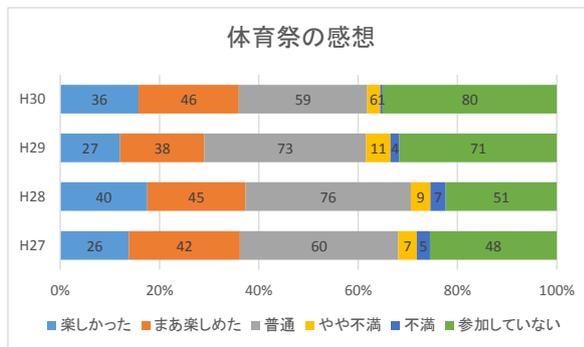
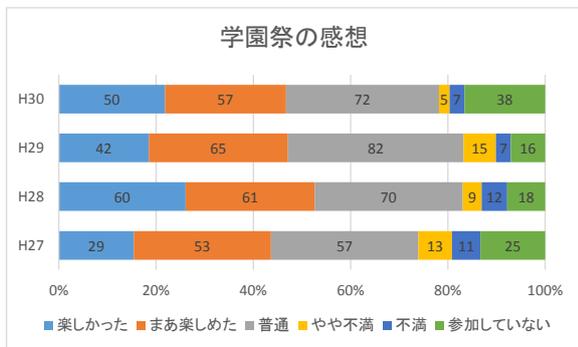
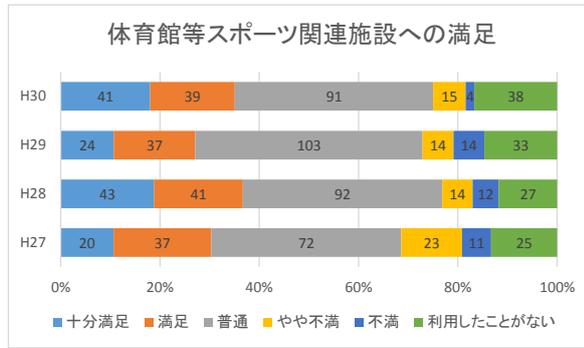
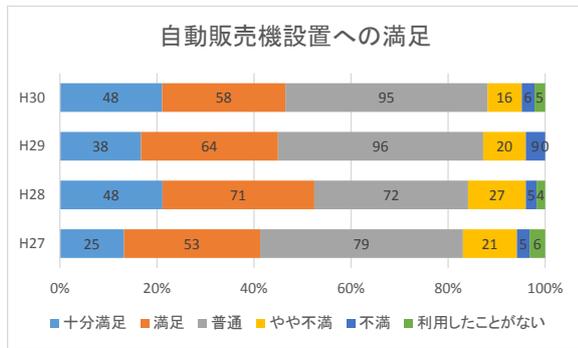
# 満足度調査アンケート集計結果について

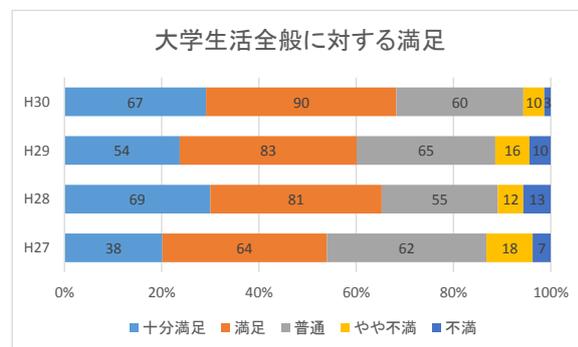
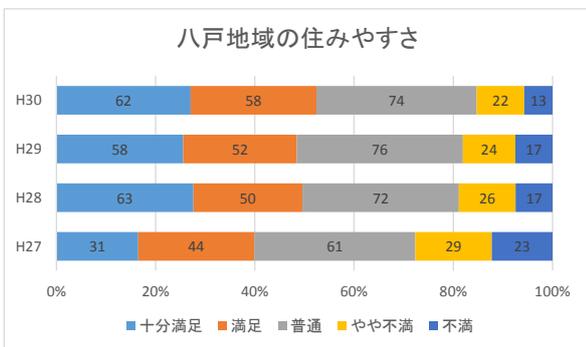
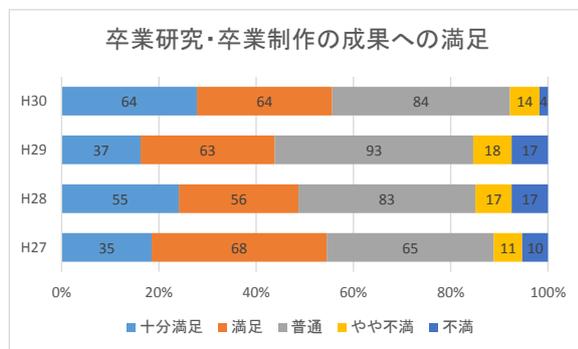
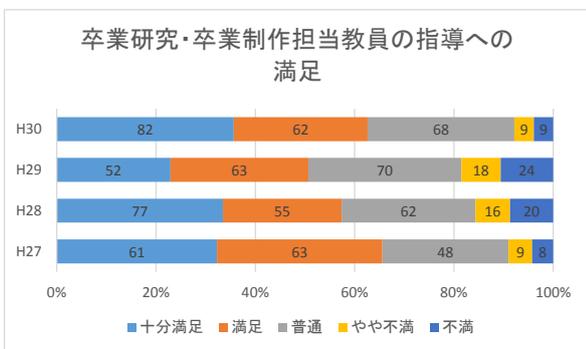
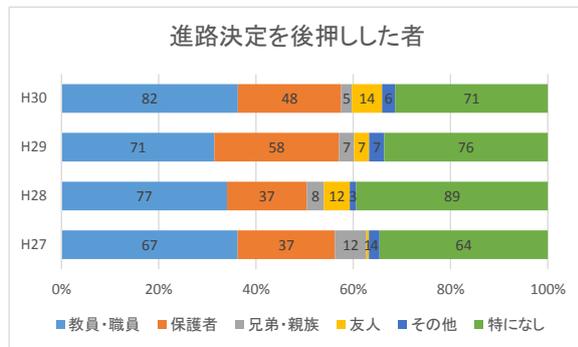
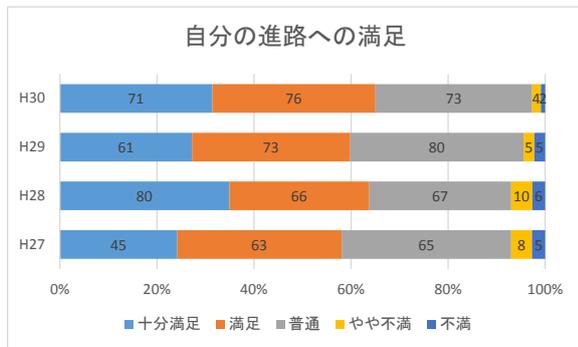
調査期間：各年度とも後期1月中旬～2月末  
 調査対象：調査期間中に在籍する全学生  
 調査方法：教務システムのアンケート機能を利用し  
 WEBアンケートページで回答

## 【4学年生】

年度	対象学生数	回答者数	回答率
H27	223	191	85.7%
H28	257	230	89.5%
H29	255	228	89.4%
H30	248	232	93.5%







## 満足度調査集計結果について

本学では、学科学年ごとに正担任1名・副担任1名が授業の履修から就職支援まで、大学生活全般にわたって学生からの相談等に対応しており、その満足度は普通まで考慮すればほぼ90%と高い満足度を得ている。一方で、不満・やや不満と感じている学生が10%程度おり、その割合が年度によって変化がないことから、この層の満足度を上げるため更なる改善が求められる。

授業等に関わる設備、図書館の蔵書、新聞閲覧室等の施設設備に関しては、不満・やや不満と感じている学生は減少傾向となっていることが確認できる。

食堂に関しては、H29年度に満足度が下がり不満が大きくなっている。これは事業者の入れ替えに伴いメニュー等の変更があったためと推察されるが、H30年度には改善されたことが確認できる。

学園祭、体育祭については、不満・やや不満と感じる学生の減少傾向が確認できるが、参加していない層が増加しており、学園祭、体育祭などの学内イベントに、学生が参加しやすい環境を検討する必要がある。また、課外活動においても、体育系・文化系いずれにも所属していない層が一定数存在している。

課外活動に関わる施設並びに指導者、課外活動全般に対して不満・やや不満層の減少傾向が確認できる。

学生の進路指導への満足度は上昇傾向で、不満・やや不満と感じる学生も減少している。また、自分の進路についても不満・やや不満の層は減少している。

卒業研究・卒業制作担当教員への不満・やや不満は増加傾向で推移していたが、H30年度には大きく改善されたことが確認できる。また、卒業研究・卒業制作の成果に対する満足度も改善された。

本満足度調査の回答率はH30年度に90%を超えた。これは、担任、卒業研究・卒業制作担当教員をはじめとし、大学全体で取り組んだ成果と言える。

4年間の大学生活全般に対する満足度が上昇しているのは、講義以外の様々な場面での学生への対応が、大学生活を送るうえでの不満を解消したことによるものと思われる。さらに学生の満足度を上げるため、施設設備の整備はもとより、学生に接する教職員には、常日頃からきめ細やかな配慮と対応を心掛けるよう求めていく。

(学務部長 坂本 禎智)